様式第６号

佐賀市市民活動応援制度

補助金実績報告書

佐賀市長　様

平成29年12月20日

住　　所	佐賀市若楠二丁目１－１
団　体　名	若楠にこにこ子育てサークル
代表者　職・氏名	代表　樅木　康子　樅木　㊞

平成29　年　12　月　20　日付け佐市協推　第231　号で補助金の交付決定を受けた補助対象事業の実績について、佐賀市市民活動応援制度補助金交付要綱第１２条の規定により、次のとおり報告します。

補助年度	２９年度	団体番号	７０
事業の名称	元気が出るにこにこ子育て講座		
補助金の交付決定金額	240,970円		
補助金の既交付金額	200,000円		
事業に要する経費精算額	372,445円		
事業に要する経費精算額のうち補助対象経費精算額	361,456円		
補助金額	240,970円		
添付書類	☑事業実施報告書 ☑事業スケジュール報告書 ☑収支決算書 ☑その他（領収書(写)、写真、アンケート、名簿、チラシ、広報誌、ＨＰ記事、講座資料）		

添付６－１（カラット）

事業実施内容報告書

団体名	若楠にこにこ子育てサークル	事業名	元気が出るにこにこ子育て講座

事業の分野 ※主たる分野を１つ選んで、□で囲んでください	(1)保健・医療・福祉 (2)社会教育 (3)まちづくり (4)観光振興 (5)農山漁村・中山間地域振興 (6)学術・文化・芸術・スポーツ (7)環境の保全 (8)災害救援 (9)地域安全 (10)人権・平和 (11)国際協力 (12)男女共同参画 (13)子どもの健全育成 (14)情報化社会 (15)科学技術 (16)経済活動 (17)職業能力・雇用機会 (18)消費者の保護 (19)ＮＰＯ支援 (20)その他 (　　)

事業内容	
目　的 ※１	(1)現状で課題や問題であると捉えていること 少子化や核家族化に伴い、母親の就労による乳幼児の早期就園がすすむ中、周りに子育て仲間のいない母親は不安や悩みを抱え誰にも相談できずにいる。乳幼児を持つ母親同士が出会い、悩みを共有しながら子育ての工夫や方法を話し合い、前向きに子育てに取り組んでいけるよう、また子育ての仲間作りができるよう「元気が出るにこにこ子育て講座」と題した子育てに関する講座を開催する。
	(2)事業の目的 ※何のために行う事業かについて、「現状の課題を解決する方法」と、申請事業との関係をふまえながら記載してください。 子どもたちを託児に預け、ゆっくりと話し合う場を作り、同年代の子を持つ母親同士が交流し、悩みを共有し合い、子育ての工夫や方法を話し合う機会にし、共に学び合い、前向きに子育てに取り組んでいけるようにする。
受益対象者 ※１	※誰に対して行った事業かを記載してください。 佐賀市在住の就園前の子をもつ母親　15 組程
成果目標 ※１	※何をどのような状態にするか、できる限り数値目標を含め記載してください。 参加者が、思いや悩みを話し合い、子育ての工夫や方法を学び合い、前向きに子育てに取り組んでいけるようにする。 アンケートで「前向きに子育てに取り組んでいける」と回答した人が 80%以上を目標とする。

<table>
<tr><td rowspan="3">成果目標の達成度</td><td colspan="2">※成果目標の達成度を測定する方法を、できる限り具体的に記入してください。</td></tr>
<tr><td>達成度の測定方法※1</td><td>全講座終了後にアンケートを取り、子育てに前向きな気持ちで取り組んでいけるようになったか確認する。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>全講座終了後にアンケートを取り、子育てに前向きな気持ちで取り組んでいけるようになったか確認した。
アンケートの「講座に参加する前と参加した後で、子育てに対する気持ちに変化はありましたか？」という項目に、変わったと回答した人は１００％だった（参加者 12 人中、「大きな変化があった」…7 人(58%)、少し変わった…5 人(42%)）。
また、アンケート結果には、「完璧な子育てを求めて自分も子供もきつく感じていたことに気付けた。楽しんで子育てしたいと思えた。」や、「前向きに子育てを考えることができた。「子どものこと「自分のこと」とても参考になった」といった意見があり、講座を受講したことで、参加者が子育てに前向きな気持ちで取り組んでいけるようになったと考えられる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業実施体制</td><td colspan="2">※事業の実施体制に〇をしてください。“２”または“３”で事業の実施を計画している場合は、() 内に具体的な協働・連携先を記載し、どういった部分を協働して実施したのか、また、どういった役割分担で実施したのか等を具体的に記載してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">１　団体単独で実施した。

②　他の市民活動団体（　子育て支援グループおたすけママ　）と協働、連携して実施した。
≪協働・連携の内容≫
講座時の託児

３　（　　）と協働、連携して実施した。

≪協働・連携の内容≫</td></tr>
<tr><td>事業実施内容</td><td colspan="2">※交付申請書に記載した内容どおりに実施した場合は、交付申請書と同じ内容で実施した旨を記載してください。
※交付申請書に記載した内容どおりに実施できなかった事項がある場合は、変更があった事項を明示した上で、実施内容を具体的に記載してください。
※交付申請書に記載していなかった事項を実施した場合は、実施内容を具体的に記載してください。
※活動状況を示す写真等を別途添付してください。</td></tr>
</table>

	申請書の「内容」を記載※1	「元気が出るにこにこ子育て講座」講座は同じ講師の6回連続で行った。 場所：若楠公民館　参加：乳幼児の母親12組参加 当初は託児の定員（託児対象者17人）に達し14組で締め切ったが、講座開始直前に仕事が決まった1人が不参加の連絡があり、 講座期間の体調不調が妊娠と分かり不参加の申し出があったため12組となった。 各回参加費として500円を徴収した。 ○講師は中村由美子氏（佐賀女子短期大学非常勤講師、ノーバディパーフェクト認定ファシリテーター）が行った。 講座内容はノーバディパーフェクトの手法を使い行った。 ○1回目は自分たちで自己紹介し、オリエンテーションで悩みを出し合い、KJ法で2回目以降のテーマを決めた。 2回目以降はテーマに沿って講師による講義やデスカッションを行った。 「元気が出るにこにこ子育て講座」 1回目 10/12 参加者9組　（託児10人） 自己紹介グループディスカッション、2回目以降のテーマを決めた。 2回目 10/19 講師都合のため日程16日に変更 した。 10/16 参加者11組　（託児13人） テーマ「食事について」 3回目 10/26 参加者11組（託児11人） テーマ「しつけについて」 4回目 11/2 参加者6組（託児7人） テーマ「こどものこと」 5回目　11/9 参加者10組（託児11人） テーマ「家族のこと」 6回目 11/16 参加者9組（託児9人） テーマ「自分の事」 ○毎回託児を実施、子育て支援グループおたすけママに依頼した。 託児対象者15人（0～1才：10人、2～3才：5人） 託児スタッフ 13 人当初予定を、おたすけママのパンフレット（託児人数のめやす）を参考に、講座1～4回目までは託児スタッフ10人とした。託児は十分に対応できたとのことだった。 講座 5、6 回目は、子ども達が託児スタッフや場所などに慣れて、子ども同士で遊べることが増え、マンツーマン対応がなくても過ごせるようになってきた事や、事前に欠席の確認や、託児スタッフ確保も大変との相談もあり託児のスタッフ8人と変更した。 ＊3ヵ月の乳児1人はママと同室で講座室にて講座スタッフと一緒に乳児の様子を見ながら過ごした。

	実績	「元気が出るにこにこ子育て講座」講座は同じ講師の6回連続で行った。 場所：若楠公民館　参加：乳幼児の母親12組参加 当初は託児の定員（託児対象者17人）に達し14組で締め切ったが、講座開始直前に仕事が決まった1人が不参加の連絡があり、 講座期間の体調不調が妊娠と分かり不参加の申し出があったため12組となった。 各回参加費として500円を徴収した。 ○講師は中村由美子氏（佐賀女子短期大学非常勤講師、ノーバディパーフェクト認定ファシリテーター）が行った。 講座内容はノーバディパーフェクトの手法を使い行った。 ○1回目は自分たちで自己紹介し、オリエンテーションで悩みを出し合い、KJ法で2回目以降のテーマを決めた。 2回目以降はテーマに沿って講師による講義やデスカッションを行った。 「元気が出るにこにこ子育て講座」 1回目 10/12 参加者9組　（託児10人） 自己紹介グループディスカッション、2回目以降のテーマを決めた。 2回目 10/19 講師都合のため日程16日に変更 した。 10/16 参加者11組　（託児13人） テーマ「食事について」 3回目 10/26 参加者11組（託児11人） テーマ「しつけについて」 4回目 11/2 参加者6組（託児7人） テーマ「こどものこと」 5回目　11/9 参加者10組（託児11人） テーマ「家族のこと」 6回目 11/16 参加者9組（託児9人） テーマ「自分の事」 ○毎回託児を実施、子育て支援グループおたすけママに依頼した。 託児対象者15人（0～1才：10人、2～3才：5人） 託児スタッフ 13 人当初予定を、おたすけママのパンフレット（託児人数のめやす）を参考に、講座1～4回目までは託児スタッフ10人とした。託児は十分に対応できたとのことだった。 講座 5、6 回目は、子ども達が託児スタッフや場所などに慣れて、子ども同士で遊べることが増え、マンツーマン対応がなくても過ごせるようになってきた事や、事前に欠席の確認や、託児スタッフ確保も大変との相談もあり託児のスタッフ8人と変更した。 ＊3ヵ月の乳児1人はママと同室で講座室にて講座スタッフと一緒に乳児の様子を見ながら過ごした。
広報実施状況		※市民の参加を呼びかけるために実施した広報等の実施状況を記載してください。 ※ポスターの掲示、チラシ等の配付を実施した場合は、設置箇所（配布箇所）、配布枚数等を記載してください。 ※テレビ、ラジオ、雑誌等の広報媒体を活用した広報を実施した場合は、広報媒体名、掲載時期等を記載してください。 ※チラシ等の広報物のコピー等を添付してください。

	1 申請書の「広報計画方法」を記載※	○ラジオ…例年の市の広報枠「いけいけ！佐賀市広報」を予定していたが、今年はなかったので実施せず。 ○広報紙…市報９月１日号の掲載 月刊育児情報誌ワイヤーママ９月号の掲載 佐賀市 HP　佐賀市市民活動プラザ HP の掲載 ○チラシ…過去のアンケート結果ではチラシの効果はゼロであり、SNS や市報、育児情報誌の方が効果的とスタッフ会議で話し合いチラシはスタッフ配布（知人などに手渡し）の 40 枚とした。 佐賀市子育てサークル連絡会で呼びかけた。 ○ポスター…「子育て支援センターゆめ・ぽけっと」に１枚、 市立図書館１枚、大和図書館１枚、鍋島公民館１枚 若楠公民館１枚の５枚 ○その他…若楠にこにこ子育てサークル会員 LINE にてお知らせと、知人への呼びかけを行った。
	実績	○ラジオ…例年の市の広報枠「いけいけ！佐賀市広報」を予定していたが、今年はなかったので実施せず。 ○広報紙…市報９月１日号の掲載 月刊育児情報誌ワイヤーママ９月号の掲載 佐賀市 HP　佐賀市市民活動プラザ HP の掲載 ○チラシ…過去のアンケート結果ではチラシの効果はゼロであり、SNS や市報、育児情報誌の方が効果的とスタッフ会議で話し合いチラシはスタッフ配布（知人などに手渡し）の 40 枚とした。 佐賀市子育てサークル連絡会で呼びかけた。 ○ポスター…「子育て支援センターゆめ・ぽけっと」に１枚、 市立図書館１枚、大和図書館１枚、鍋島公民館１枚 若楠公民館１枚の５枚 ○その他…若楠にこにこ子育てサークル会員 LINE にてお知らせと、知人への呼びかけを行った。

※１は、交付申請書と同じ内容を記載してください。

添付６－２

事業スケジュール報告書

団体名	若楠子育てにこにこサークル	事業名	元気が出るにこにこ子育て講座

実施月	申請書記載の実施項目	実施内容（実　績）			
29年7月13日	スタッフ会議１	講座全体の打ち合わせ(広報、資料等) 場所:若楠公民館			
		イベント等参加者数　人	団体スタッフ　8　人	ボランティア　人	
29年9月14日・28日	スタッフ会議２	打ち合わせ等（託児依頼、申し込み状況確認、名簿等） 場所：若楠公民館			
		イベント等参加者数　人	団体スタッフ　8　人	ボランティア　人	
29年10月12日	第１回講座	講師紹介、自己紹介、講義・ディスカッションで参加者の悩みを出し合い、講座のテーマを決めた			
		イベント等参加者数　9　人	団体スタッフ　5　人	ボランティア　1　人	
29年10月12日	スタッフ会議３	講座１回目の振り返り 次回の準備、担当決めなど			
		イベント等参加者数　人	団体スタッフ　5　人	ボランティア　人	
29年10月16日	第２回講座	テーマ「食事について」テキストを参考に参加者の工夫等を話しディスカッション			
		イベント等参加者数　11　人	団体スタッフ　5　人	ボランティア　人	
29年10月16日	スタッフ会議４	講座２回目の振り返り 次回の打ち合わせ、準備など　場所：若楠公民館			
		イベント等参加者数　人	団体スタッフ　5　人	ボランティア　人	
29年10月26日	講座３回目	テーマ「しつけについて」 テキストを参考にディスカッション			
		イベント等参加者数　11　人	団体スタッフ　5　人	ボランティア　人	

※「申請書記載の実施項目」の欄は、申請書と同じ内容を記載してください。
※取りやめた場合は、「実施内容」の欄に「取り止め」と記載してください。
※開催月等を変更した場合は、「実施内容」の欄に「○月に変更」と記載し、変更後のスケジュールについては、「年月」を記載し、「申請書記載の実施項目」の欄に“【変更】”と記載の上、実施項目と実施内容を記載してください。
※申請書に記載した事項以外に実施した事項がある場合は、「申請書記載の実施項目」の欄に“【追加】”と記載の上、実施項目と実施内容を記載してください。
※団体スタッフ欄は、各実施項目の内容に参加し、当該団体から給与・謝金等の支給を受けていない団体スタッフの人数を記載してください。。
※ボランティア欄は、各実施項目の内容に参加し、謝礼等の支出がないボランティアの人数を記載してください。ただし、交通費や食事代などの実費相当額のみ支出している場合は、人数に含めてください。

添付６－２

事業スケジュール報告書

団体名	若楠子育てにこにこサークル	事業名	元気が出るにこにこ子育て講座

実施月	申請書記載の実施項目	実施内容（実　績）		
29年 10月30日	スタッフ会議５	講座３回目の振り返り、次回の打ち合わせ等 場所:若楠公民館		
		イベント等参加者数　人	団体スタッフ　５　人	ボランティア　人
29年 11月２日	講座４回目	テーマ「子どものこと」について、乳幼児の心と体の発達やテキストを参考に講師の先生と体験談をもとにディスカッション		
		イベント等参加者数　６　人	団体スタッフ　６　人	ボランティア　人
29年 11月６日	スタッフ会議６	講座４回目の振り返り、次回の打ち合わせ等 場所：若楠公民館		
		イベント等参加者数　人	団体スタッフ　５　人	ボランティア　人
29年 11月９日	第５回講座	テーマ「家族のこと」について、参加者の悩みを共有しあい、グループでディスカッション		
		イベント等参加者数　10　人	団体スタッフ　５　人	ボランティア　３　人
29年 11月９日	スタッフ会議７	講座５回目の振り返り、次回の打ち合わせ等 場所:若楠公民館		
		イベント等参加者数　人	団体スタッフ　５　人	ボランティア　人
29年 11月16日	講座６回目	テーマ「自分のこと」について、参加者の悩みを共有しあい、講師の話などでテーマを深めた		
		イベント等参加者数　９　人	団体スタッフ　５　人	ボランティア　人
29年 11月20日	スタッフ会議８	講座６回目の振り返り、アンケート集計など 場所:若楠公民館		
		イベント等参加者数　人	団体スタッフ　５　人	ボランティア　人
29年 11月30日	スタッフ会議８	アンケートを読み取りながら講座全体の振り返り、まとめ等 場所:若楠公民館		
		イベント等参加者数　人	団体スタッフ　８　人	ボランティア　人

添付６－３（カラット）

収支決算書

団体名	若楠にこにこ子育てサークル	事業名	元気が出るにこにこ子育て講座

【支出の部】

予算項目（区分）		事業に要する経費	事業に要する経費のうち補助対象経費
報償費	申請額	173,600 円	173,600 円
	実績額	173,600 円	173,600 円
人件費	申請額	174,200 円	174,200 円
	実績額	174,200 円	174,200 円
旅費	申請額	0 円	0 円
	実績額	0 円	0 円
消耗品費	申請額	10,815 円	10,815 円
	実績額	10,815 円	10,815 円
印刷製本費	申請額	1,836 円	1,836 円
	実績額	1,836 円	1,836 円
食糧費	申請額	10,989 円	0 円
	実績額	10,989 円	0 円
通信費、手数料等	申請額	205 円	205 円
	実績額	205 円	205 円
使用料及び賃借料	申請額	800 円	800 円
	実績額	800 円	800 円
原材料費	申請額	0 円	0 円
	実績額	0 円	0 円
その他	申請額	0 円	0 円
	実績額	0 円	0 円
支出合計	申請額	372,445 円	361,456 円
	実績額	① 372,445 円	（A） 361,456 円

【補助金対象額】

（A）×２/３以内（上限 30 万円） 又は交付決定額のいずれか低い額	（B） 240,970 円

【収入の部】

予算項目（区分）		事業に係る収入額	内　訳	
佐賀市市民活動応援制度補助金	申請額	240,970 円		
	実績額	（B）　240,970 円		
事業収入	申請額	28,000 円	＠500×（9+11+11+6+10+9）＝28,000	
	実績額	28,000 円	＠500×（9+11+11+6+10+9）＝28,000	
他の補助金等	申請額	0 円	（名称）	
	実績額	0 円	（名称）	
自主財源	申請額	103,475 円	■会費・寄附・協賛金	103,475 円
			□その他	円
	実績額	103,475 円	■会費・寄附・協賛金	103,475 円
			□その他	円
収入合計	申請額	372,445 円		
	実績額	（C）　372,445 円		

【収支差額】

収入合計実績額		事業に要する経費に係る支出合計実績額		収支差額	
（C）	372,445 円	①	372,445 円	（D）	0 円

※当該事業に係る収入合計実績額（c）が支出合計実績額①を上回る場合は、その差額を補助金の額から控除する。

【補助金実績額】

補助金対象額　収支差額		補助金額	
（B）　－　（D）	＝	（E）	240,970 円

※【支出の部】「事業に要する経費のうち補助対象経費」の内訳

予算項目（区分）	「事業に要する経費のうち補助対象経費」の内訳 （積算根拠：品名、単価、数量等）		（金額）
報償費	申請額	講師謝金　10,000円×6回＝60,000 託児料@800×2.5時間×10人×4回＝80,000 @800×2.5時間×8人＝16,000 @800×2.75時間×8人＝17,600	
		合計	173,600円
	実績額	講師謝金　10,000円×6回＝60,000 託児料@800×2.5時間×10人×4回＝80,000 @800×2.5時間×8人＝16,000 @800×2.75時間×8人＝17,600	
		合計	173,600円
人件費	申請額	スタッフ会議@800×2時間×8人×2回=25,600 スタッフ会議@800×2時間×(4人+4人)×1回 ＝12,800 スタッフ会議@800×2時間×5人×6回＝48,000 講座スタッフ@800×3.5時間×5人×6回＝84,000 講座スタッフ@800×0.25時間×5人＝1,000 追加講座スタッフ@800×3.5時間×1人＝2,800	
		合計	170,400円
	実績額	スタッフ会議@800×2時間×8人×2回=25,600 スタッフ会議@800×2時間×(4人+4人)×1回 ＝12,800 スタッフ会議@800×2時間×5人×6回＝48,000 講座スタッフ@800×3.5時間×5人×6回＝84,000 講座スタッフ@800×0.25時間×5人＝1,000 追加講座スタッフ@800×3.5時間×1人＝2,800	
		合計	170,400円
旅費	申請額		
		合計	0円
	実績額		
		合計	0円
消耗品費	申請額	インク代5,771円、用紙763円+407円、 画用紙200円、広用紙224円、ファイル2,000円、 セロテープ182円　など	
		合計	10,815円
	実績額	インク代5,771円、用紙763円+407円、 画用紙200円、広用紙224円、ファイル2,000円、 セロテープ182円　など	
		合計	10,815円
印刷製本費	申請額	チラシ、ポスター、資料代	
		合計	1,836円
	実績額	チラシ、ポスター、資料代	
		合計	1,836円

※記入枠の行幅は内容に合わせて変更してください。
※対象経費の内訳の欄は、積算根拠を記入してください。
※【支出の部】「事業に要する経費のうち補助対象経費」の内訳

予算項目（区分）		「事業に要する経費のうち補助対象経費」の内訳（積算根拠：品名、単価、数量等）	（金額）
食糧費	申請額		
		合計	0円
	実績額		
		合計	0円
通信費、手数料等	申請額	切手代205円	
		合計	205円
	実績額	切手代205円	
		合計	205円
使用料及び賃借料	申請額	冷暖房費 10/12 400円 11/16 200円 11/30 200円	
		合計	800円
	実績額	冷暖房費 10/12 400円 11/16 200円 11/30 200円	
		合計	800円
原材料費	申請額		
		合計	0円
	実績額		
		合計	0円
その他	申請額		
		合計	0円
	実績額		
		合計	0円
支出合計	申請額		361,456円
	実績額		361,456円